

教員養成系学部における GIS関連教育の実践

—金沢大学教育学部の例—

金沢大学

伊藤 悟・湯田ミノリ

本発表の目的

- 教員養成系学部の一つである金沢大学教育学部において、GIS関連教育にこれまでいかに取り組んできたかを整理・報告すること。
-

本発表の目的

- 教員養成系学部の一つである金沢大学教育学部において、GIS関連教育にこれまでいかに取り組んできたかを整理・報告すること。
 - 科研『地理情報科学の教授法の確立—大学でいかに効果的にGISを教えるか—』（基盤研究(A)、代表者：村山祐司)の一部。
-

教員養成系学部の役割

- 教員養成系学部は初等(小学校)・中等教育の学校教員の養成を目的に。
-

教員養成系学部の役割

- 教員養成系学部は初等(小学校)・中等教育の学校教員の養成を目的に。
 - 学校等と連携し、現職教員の資質向上や教育現場への支援も、近年重要に。
-

教員養成系学部の開講授業

- 一般学部と比べて、授業の構成や内容の自由度が少ない。
 - 教職と教科に関する両科目群から構成される。教員免許取得にかかわる必須科目がある。
 - 教職に関する科目
 - 教科に関する科目
 - 中学校社会科の例
「日本史及び外国史」、「地理学(地誌を含む)」、「法律学, 政治学」,
「社会学, 経済学」, 「哲学, 倫理学, 宗教学」 → 計20単位以上
-

教員養成系学部の開講授業

- 一般学部と比べて、授業の構成や内容の自由度が少ない。
 - 教職と教科に関する両科目群から構成される。教員免許取得にかかわる必須科目がある。
 - 教職に関する科目
 - 教科に関する科目
 - 中学校社会科の例
「日本史及び外国史」, 「地理学(地誌を含む)」, 「法律学, 政治学」,
「社会学, 経済学」, 「哲学, 倫理学, 宗教学」 → 計20単位以上
 - 教科に関する科目は、一般的・包括的な内容に。
→ 特定の専門に偏らないように、その分野に関する内容を幅広く。
-

教員養成系学部履修行動

- 卒業後の教員採用を考えると、複数校種（小学校、中学校、高等学校）の免許取得も目指す。
 - 4年間の取得単位数が多い。
 - 教職科目を中心とした履修に。
-

教員養成系学部履修行動

- 卒業後の教員採用を考えると、複数校種（小学校、中学校、高等学校）の免許取得も目指す。

 - 4年間の取得単位数が多い。
 - 一般学部
 - 一般学部（教員免許取得者）
 - 教員養成系学部
-

教員養成系学部履修行動

- 卒業後の教員採用を考えると、複数校種(小学校, 中学校, 高等学校)の免許取得も目指す。
 - 4年間の取得単位数が多い。
 - 一般学部
 - 一般学部(教員免許取得者)
 - 教員養成系学部
 - 教職科目を中心とした履修に。

□ 教職に関する科目	[小41 中31 高25]
□ 教科に関する科目	[小8 中20 高20]
□ 教職もしくは教科に関する科目	[小10 中 8 高16]
-

金沢大学教育学部におけるGIS関連授業

□ 講義・・・「都市地理学」

■ 学部2年生向け:後期

- 位置づけ: GIS内容教育

□ 演習・・・「都市地理学演習」

■ 学部3年生向け:前期(後期)

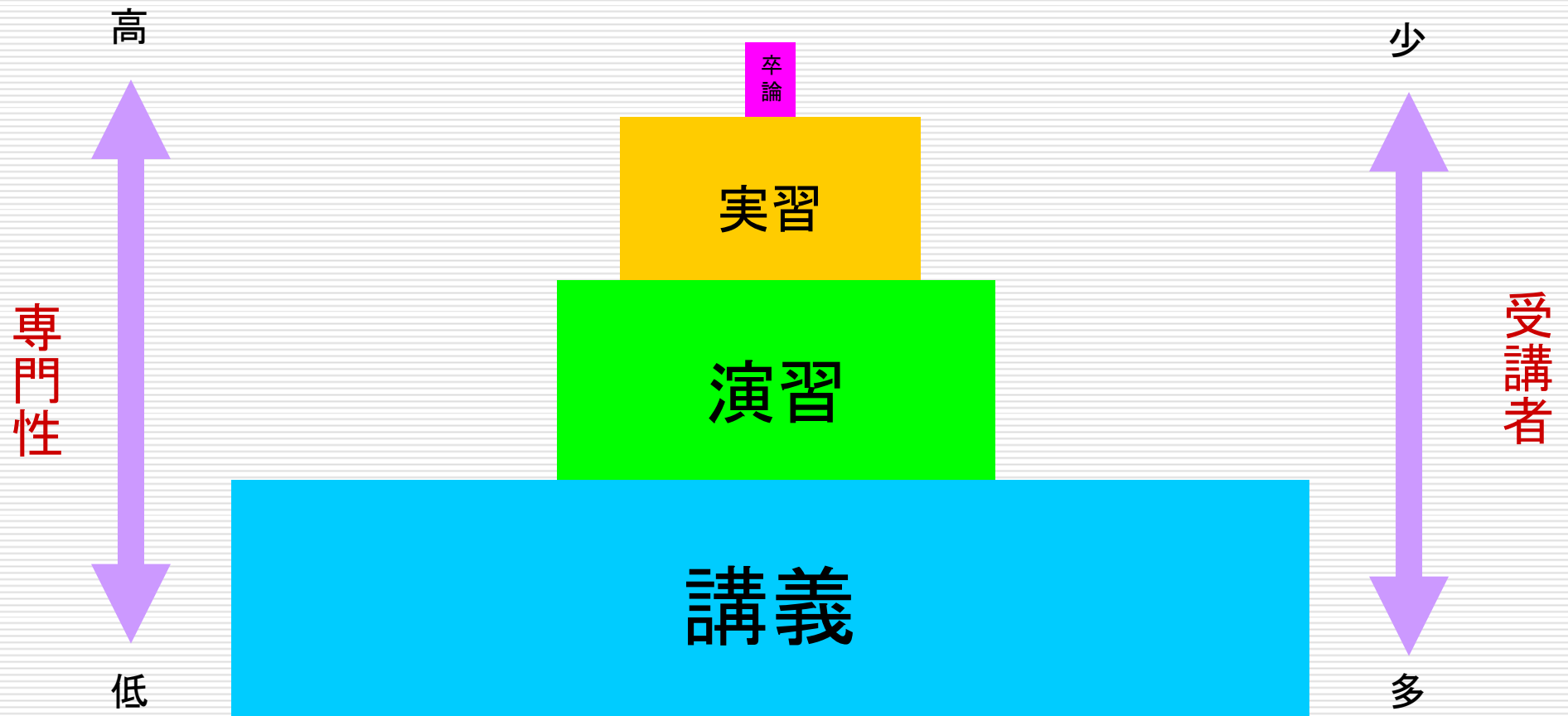
- 位置づけ: GIS内容教育(～GIS利用教育)

□ 実習・・・「地域調査実習」

■ 学部3年生向け:後期

- 位置づけ: GIS利用教育
-

金沢大学教育学部におけるGIS関連授業



教員養成系学部における GIS関連教育に関する今後の課題

- 免許取得の制度面での検討
 - 現状では、GIS学習の必要性が明確ではない。
 - 対応例： 中高理科の免許「コンピュータ利用を含む」
-

教員養成系学部における GIS関連教育に関する今後の課題

□ 免許取得の制度面での検討

- 現状では、GIS学習の必要性が明確ではない。
- 対応例：中高理科の免許「コンピュータ利用を含む」

□ 教育養成系学部の相互連携

- 地理学の担当教員がGISに必ずしも明るいわけでない。
- 教員の(地理学から)教科教育等へのかかわりの増加。

□ GISの専門系学部との役割分担

教員養成系学部の役割

- 教員養成系学部は初等(小学校)・中等教育の学校教員の養成を目的にする。
- 教育委員会や学校と連携し、現職教員の資質向上や教育現場への支援も、近年重要に。



- 現職教員へのGIS講習（論文集論文第4節）
 - 中学校・高等学校授業への支援（同第5節）
-

教員養成系学部における GIS関連教育の実践

—金沢大学教育学部の例—

ご清聴ありがとうございました。

金沢大学

伊藤 悟・湯田ミノリ